

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	職員個人の目標、やりがいの把握がしにくい。各自の目指すものを明確にしたい。	・各自が明確な目標をもつ ・倫理観を持ち、認知症介護の基本を理解する。	各自の目標を明確にして、他の職員もわかり、協力してもらえる環境をつくる。倫理の学習を定期的にしていく。	6ヶ月
2	25	一人1人が自分らしく暮らしておられるのか、対応にむらがある。自己主張する人に時間をとられてしまい、何も発信しない人への関わりが希薄になる。	各自の本人らしさとはどういうことなのかを明確にする。	ひもときシートを使い、一人ずつ本人の困っていること、望んでいる暮らしを職員全員で分析しケアに繋げてゆく。	6ヶ月
3	27	BPSD出現した時の対応、事前症状に気づきにくいことがある。	BPSDの意味、関連性の理解ができるようになる。	ホーム内研修において、BS法を使い、自分たちで理解できるような内容で理解を深めてもらう。新人研修は、回数を増やしより強化する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。